

第5回 福岡市黄砂影響検討委員会

- ◆ 日 時： 平成 25 年 3 月 12 日（火） 13：30～14：30
- ◆ 場 所： 福岡市役所 15 階 第 4 会議室
- ◆ 出席者：
 - 委員長： 鶴野 伊津志
 - 委 員： 岸川 禮子、龍山 康朗、荒瀬 泰子、瀧下 洋一
(欠席：市瀬 孝道、平原 晃三)
 - 事務局： 福岡市環境局環境監理部長、環境保全課長、広域環境問題担当主査
環境科学課長、主任研究員
- ◆ 議 事
 - 1) 環境省「最近の微小粒子状物質 (PM_{2.5}) による大気汚染への対応」について
(微小粒子状物質 (PM_{2.5}) に関する専門家会合報告)
 - 2) 福岡市における今後の情報提供のあり方について
- ◆ 配布資料
 - 資料 1 最近の微小粒子状物質 (PM_{2.5}) による大気汚染への対応
 - 資料 2 福岡市における今後の情報提供のあり方について (案)

1 開 会

(1) 事務局より開会の挨拶

2 議 事

- 1) 環境省「最近の微小粒子状物質 (PM_{2.5}) による大気汚染への対応」について
(微小粒子状物質 (PM_{2.5}) に関する専門家会合報告)

委員長 5 回目の委員会という事で本日の議事に入りたいと思います。議事が 2 件ありますので、まず、最初、議事の 1 番、環境省「最近の微小粒子状物質 (PM_{2.5}) による大気汚染への対応」について説明をお願い致します。

事務局 (議事 1 最近の微小粒子状物質 (PM_{2.5}) による大気汚染への対応について説明)

委員長 どうも有り難うございました。3 週間ぐらいの間に 3 回議論された結果を非常に的確に説明して頂いたと思います。これは環境省の専門家会合の結果なので、これについての質疑というのはおかしいかもしれませんが、議論の経過等、何か荒瀬委員にお聞きしたいことがございましたらよろしくお願ひします。

委 員 1 つ、質問なんです、午前 5 時、6 時、7 時の 1 時間の、3 時間の平均をとるという事ですか。平均で 85 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた時ということですね。

委 員 はい。

委 員 分かりました。有り難うございます。

委 員 かつ、複数局が望ましいとされています。

委員長 他にどなたかございますか。

委 員 もう 1 つなんです、例えば 50 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を目安として、今度は改善という話が 7 ページにあるん

ですが、この $50\mu\text{g}/\text{m}^3$ というのもやっぱり3時間ぐらいの平均を取るという形なんでしょうか。

委員 同じです。

委員 続けて3時間でということですね。

事務局 1時間値自体の精度にまだ問題があるということで複数時間や複数局の平均が良いとされています。

委員 きっちり3時間というわけではなく、複数局が $50\mu\text{g}/\text{m}^3$ を切った時点が1つの目安です。あくまでもこれは案で示されたこととございます。

委員長 一応、国の指針だと、3時間で複数局の平均値、多分、複数局を使うというのは、測定局が少ないからで、福岡市の場合は8局ありますから、8局の値を平均すれば、ばらつきは大体カバーできるので、ほとんど均等じゃないかという風に考えてよろしいと思います。

他にございませぬか。なければ議事の1番目をこれで終了しまして、福岡市における情報提供のあり方について事務局より説明をお願い致します。

事務局（議事2 福岡市における今後の情報提供のあり方について（案）について説明）

委員長 どうも有り難うございました。非常に複雑な話ですが、前回までの4回の委員会では $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 予測ルールに基づいて注意を喚起するということが決まったあとに、国の方針が出されたわけです。問題点は、従来どおりのものを続けてよろしいかどうかという点になると思います。先ほどのスライドでは先週末の平均濃度は40とか $50\mu\text{g}/\text{m}^3$ ぐらいですね。ですから、週末、結構汚かったんですが、あれぐらいのレベルだと県の方式に従うと何も出ない。福岡市の方式に従うと、一応、情報が出るということ。結構、週末汚かったですから、そこで何もしないというのはちょっと。せっかく決めたことを続けたほうがいいかなと私は思います。ご意見等ございましたら宜しくをお願いします。

委員 確認ですが、評価基準値が福岡の場合は $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ で、国の指針の方が $70\mu\text{g}/\text{m}^3$ ということで半分ぐらいで、エリアも違うし、基準の取り方というか時間的な取り方も違うので一概に比べるのは難しいとは思いますが、例えば、年間、大体どれぐらいの発表回数の差が見込まれるのか何かシミュレートしたのがありますか。

委員 やはり $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ と $70\mu\text{g}/\text{m}^3$ が誤解を招いているのではないかと思います。あくまでも $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ というのは環境基準であり、それを超えたということで呼吸器系やアレルギー疾患を持つ方は注意して下さいねという情報提供でした。今回の $70\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた時の注意喚起は一般の人を対象に国から示されており、実際には県レベルで実施されることから、市としてはそれを取り入れるということで今までの情報提供は続けたいと考えている。だから、県の注意喚起と市の独自情報は同じものではないということは理解して頂けたと思います。

それから、昨年度からの測定で十分なデータではありませんが、昨年度は2日ほど $70\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えています。今年度は、まだ年度が終わっておりませんので、どれぐらいになるかというのは言えない状況です。

委員長 よろしいでしょうか。 $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えるのは確か30日ぐらいでしたか。 $75\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えるのが2日とか3日。そういうことだと思います。他にどなたかご意見ございますか。

やり方が非常に複雑ですが、先程計算したら、福岡市の予測モデルは、朝6時の濃度が $39\mu\text{g}/\text{m}^3$ だと平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ になる。国の方で $85\mu\text{g}/\text{m}^3$ の値を入れて、福岡市の予測モデルに

85 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ の値を入れるとちよつきり 70 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ になるんですね。国の基準の式は福岡市の式とほとんど同じ式なんですね。

委員 専門家会合でもこの回帰曲線は福岡モデルと全く同じだという風におっしゃってました。例えば、福岡市は独自に6時という時間帯で予測していますが、ここに6時の市と7時の県でタイムラグが1時間生じます。我々の6時を7時に下げるといふ案もありますが、できるだけ市民の皆さまからは朝早く出してほしいという要望がございましたので、7時には情報発信できるという体制を構築しました。ただ、県は1つ上の注意喚起のレベルになりますので、当然、注意喚起が出る日は6時の予測でもかなり高い値を予測しており、そこに対して大きな混乱は生じないと考えています。また、注意喚起が出た時点で今日は福岡地区に注意喚起が出ていますという形でホームページを8時には更新するので、大丈夫だろうとは思っております。

委員長 少し複雑ですが、福岡市の方法だと、朝6時のものを使って予測しているので、7時前ぐらいには情報提供が出て、その後、県の方法でやっていて70 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えるとなった場合には、もう1段上のレベルの注意喚起に書き換わるという風に考えてよろしいんですか。

委員 はい。

委員 それで、県の方が8時頃に出るといふことですね。例えば、確かに時間を合わせるという意見もあるかもしれませんが、確か午前6時の的中率といひますか、濃度が高くなるよという率が高かったですね。7時と比べて。

委員 はい。

委員 じゃ、このままのほうがやっぱりいいかと思ひます。

委員 福岡市では6時で1番的中率が高かった。遅くすればするほど、また高くなるんですが、やはり、早朝に情報を出したいといふのがございました。専門家会合は福岡市だけのデータではなく、全国レベルでデータ解析をされているといふ違いから5時から7時という結果が示されたと思ひます。

それから、先程、市民の声も出させて頂いておひますが、今、ホームページのアクセスも35万を超えるぐらい、もの凄ひアクセスがっております。そこでも情報提供に対してはマイナス意見は頂いておひませんので、情報はできるだけ速やかに適切に出して頂きたいといふ市民の声が強いこと、その時に市民の皆さまがとるべき行動を冷静に判断してほしいといふことを、私どもはきちっと広報することが1番大事かなと思ひておひますが、そういう市民からの要望も踏まえて、今の予測は続けていきたいと考えています。

委員長 他にどなたかご意見等ございますか。

一応、今までの議論に基づきますと、福岡市が今、暫定的に始めている日平均濃度35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ のシステムで注意を喚起するのは今までどおり続ける。日平均濃度が70 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えるといふようになった場合には、注意喚起の方法を県の方法に統一するといふ方向に進めていきたいといふ事です。そのように決めてよろしいでしょうか。特に反対意見等ございませんので、今までの方法をそのまま暫定的に継続していくといふことで進めてはどうかと思ひます。

一応、議事の1と2はこれで大体終わっているのですが、特に何か言い残したこと、重要なコメント等ございませんか。特になければ、福岡市の方法を従来どおり続けるといふことにさせて頂きたいと思ひます。それでは、最後ですが、3番目その他ですけれど、事務局の方で何かないですか。

事務局 その他でございますが、このような形での情報提供でよろしいとご判断を頂きましたので、それを受けまして、準備をしておりました防災メールでの情報発信を 15 日から開始することとし、本日からその登録を開始したことを皆さまにもご報告させていただきます。

委員長 どうも有り難うございます。登録というのは、黄砂の他にも PM_{2.5} も提供して下さいという新規登録ですね。

委員 登録場所は同じですか。

事務局 はい。市防災メールのホームページから登録できます。

委員長 それでは、今日、すべての議事が終わりましたが、最後に委員の皆さまから何かございましたら。

事務局 お伝えし忘れておりましたが、市の防災メールに登録していただければ、県の情報も入ってくるような仕組みになっております。

委員長 県の防災メールが来たあとにもう 1 回来る可能性があるわけですか。そういうことです。

委員 県の防災メールも登録をして頂ければそちらの方からも来ますけれど、県に登録されなくても福岡市の防災メールに登録して頂ければ注意喚起は配信されます。

委員長 市にだけ登録していると、最初に市の注意喚起が来たあとに、もっと高く濃度が上がる時には、県の出している情報が市の防災メールを通じてもう 1 回来ると。そういうことですね。分かりました。

委員 市民の皆さまには 1 本化されるということですか。

委員長 他に何か、補足とかコメントとかございますか。宜しいでしょうか？

委員 もう大変です。本当に。毎日のように電話がガンガン、メールですね。「なんで毎日やらないんだ」と「なんで放送で出さないんだ」と。ところがもうご存じのとおりというか、結局 1 時間値に過敏に反応してらっしゃるんですね。ですから、うちの局としては、とにかく福岡市が出しているような 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超える恐れがありますよと。そういったものについては必ず出すのですけれども、毎日 1 時間超えたからって出してもですね。

とにかく、市民の方は大変過敏になり過ぎているなという印象を持っています。ですから、何とか、これは 1 日平均の数値なんだとか、あるいは知見が足りなくてまだ分からないんだとか、あるいは 35 とか 70 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ という 2 つランクがあるというものの意味を伝えていかないといけないなあと常々思っているんですが、是非、福岡市のほうでも、「これは 1 日平均です」とちょっと強調して頂けたらという気がしています。

それから、マスクについてなんですが、さっきの質問の中にもあったので、あとで伺おうかとおもったんですが、確か「N95 じゃないとダメなんですか。」それから、「洗濯物はどうしたらいいんでしょうか」とか、もし、せっかく先生方がいらっしゃるの、あとから伺おうかと思ったんですが、教えていただくと助かります。

委員 まず、パニック状態になりつつあるところからよろしいでしょうか。福岡市がこのような情報を出して頂けると私達は、1 個人として、これだけ空が曇っていたら、大体これくらいの濃度だなというのが分かるメリットがありますので、経験的には、これくらいだったら自分は大丈夫だとか、大変だなというのが、身をもって測定濃度で分かるような近い将来があるということで、とてもよいことだと思います。また強く感じる人と全く何にも感じない人がいます。米国の公衆衛生学的な講演会などを見ると、予防の 1 つとして、不安を除くという方法がありま

す。周囲の状況を踏まえて、正しい行動をとることで不安を除くことも予防・治療の1つになるのではないかと思います。このような情報で行動するというのは、最近の傾向だと思いますけれども、不安を除くという利点があると思います。

マスクについてですが、我が国ではスギ花粉症の方が非常に多いので、花粉症対策として研究された結果、通常のマスクが非常に優秀なマスクと言えます。また専門家の講演等を聞いていますと、最もよい使い方は、自分にフィットしたマスクをするということです。勿論N95や4層性のマスクはよいに超したことはありません。しかし、マスクも1つ注意を喚起しておきたいのは、マスクをしたから安心ではないことです。小さな子供さんに、「マスクをしたから大丈夫よ」と言って、例えば何時間も放置して遊びに行かせると、苦しくても訴えることができないための二次的な不都合を起こすこともあります。子供の様子を見てマスクをするべきであって、それほど凝る必要もないけれども、安易にはしてはならないということをおきたいと思います。

委員 安易にしては？

委員 例えば、鼻の詰まった子供さんに目の詰まったマスクをすると、とてもじゃないですけど苦しい。でも、親から言われたから子供は、マスクをしないといけないと思ってるわけです。そういう息苦しさを親は分からない。子供さんは鼻腔の径も小さいし、すべてが小作りなわけです。だから、少しでも変化があったら、それだけでも苦しいのに、更にマスクをしてというのが本当に適当かどうかということ1度考えみる必要があります。マスクさえすればよいというわけではないと思います。特に子供さんに関しては状況を確認するような観察が必要じゃないかなとも思っています。マスクは重要で、簡易でとても役に立つ道具ですけども、ものを言えない小さな子供さんなどに安易に一方的にマスクをさせるというようなことは、ちょっと注意して頂きたい項目じゃないかと思います。

委員長 どうも有り難うございました。

一応、マスクはちゃんと使えば効果があるということ。ただ、人によってはちょっと注意をしなくちゃいけない。例えば、うちの娘にマスクをするように先週末言ったんですけど、口だけして鼻を開けたまま走ってたんで、ちょっとケアしなくちゃいけないと思います。

委員 マスクに100%頼るなということだろうと思います。国の指針にも濃度が高い場合には不要・不急の外出等を避けて下さいという事で、マスクをしたら外出していいですよという事は出て来ておりません。市の情報も呼吸器系やアレルギー疾患を持つ方に対して予測が出た日に外出される時にはマスクを着用しましょうというような書き方をしていますので、マスクをすれば何時間でも遊んでいいとか、逆の誤解が生じているということからの健康被害も危惧されると思います。

委員 有り難うございます。大変、参考になります。助かります。こうやって教えて頂くとですね。本当に個々で考えて頂かないと仕方ないですね。多くの方にいっぺんに言わなくてはいけないので。ですから、健康な方と高感受性者、とにかく疾患をお持ちの方とで分けてお伝えはするようにしてるんですが、それにしてもすごく反応が大きくてですね。本当に、「今日は洗濯物を干していいか」というのが電話で掛かってくるんです。洗濯物については、例えば、「外に干すのは止めましょう」という項目がありますので、当然、濃度が高い時には干さないほうがいいというのは伝えられるんですが、仮に、干していると。で、高くなった。これ、すぐ入

れたほうがいい、あるいは置いといて明日入れたほうがいいんですかとかですね。色々ホームページを見たら、外に置いといたら化学反応が、何かそういうのもあるんですよ。なので、どうなんでしょう。洗濯物がお分かりの方。

委員 花粉症と同じに考えるのは安易かもしれませんが、スギ花粉のように外に浮遊して目に見えないものなので困るわけですね。雨が降ったら洗濯物は干しません太陽の光と風が吹いていると洗濯物を外に干してしまいます。その中に大量のPM_{2.5}が漂っているということになると思うのですけれども。もし、洗濯物を干す必要性があるときは、花粉症の予防時と同じようにカバーをすることが1つの手じゃないかと思います。カバーと言いますと、ビニールのカバーをしたら全然蒸発しないですが、薄手の布でカバーしたらいかがでしょうか。上から降ってきた黄砂やPM_{2.5}が重力によって落ちて、それが付着するので、その付着の部分を少なくする目的で、布だったら洗濯物の乾燥を妨げに干さずに乾きます。そういうものを上に被せて、家に取り入れるときに布を外すと随分暴露量が少なくなるのではと思います。

委員 布のようなカバーというのは、隙間はあってもある程度は押さえられるということによろしいですか。

委員 100%ではありませんが、かなり減量することが出来ると思います。

委員 もし、カバーもせずに出しておいて、どうしたらいいんだというような質問がきたときはどうしたらいいんでしょうか。

委員 この項目は、非常に難しいですね。この生活影響というところは、黄砂情報から引用した項目でございます。国の注意喚起のところは、やはり知見がありませんので、そこに全く触れてないんです。場合によっては、洗濯物は出来るだけ干さないようにしましょうというのを外してもいいかなという気もするんですが、福岡では黄砂飛来と同じ時にPM2.5の高い日が非常に多く、黄砂の時には大きな粒子が飛来しますので、当面はそのままでもいいかなという気はいたします。また、屋根がある洗濯物干し場とか様々ですので、非常に難しいところだなあと思います。非常に混乱を生じていけば外すということも考えてもいいのではないかなという気もいたします。

委員長 非常に難しい問題で、色々議論しなくてはならないと思いますけれど、ここをどうするかはちょっと中々決められないところなので、私と事務局の方に一任して頂いて、様子を見ながら精査するという事でよろしいでしょうか。

委員 「よく、はたいて取り込んで下さい」と言うだけじゃダメですかね。

委員長 はたいたら舞い上がります。吸い込みます。

委員 分かりました。それは言わないようにします。

委員長 ちょっとこの辺は微妙なので、他に何かございますか。特にないようでしたら本日の議事を終了して、進行を事務局のほうにお返ししたいと思います。

事務局 有り難うございました。鶴野委員長、委員の皆様、長時間にわたりまして、貴重なご意見有り難うございました。以上を持ちまして「第5回福岡市黄砂影響検討委員会」を終了させていただきます。